

2)事故隠し①

建設工事における事故かくしは絶対に許されません。工事を施工する会社の信頼性だけでなく、公共工事全体の信頼性を大きく損なう重大な違反行為です。

近畿地方整備局発注の工事においては、事故が発生した場合、発注者へ速やかに連絡することが義務づけられています。報告を怠った場合、契約上の違反行為となります。

(参考) 近畿地方整備局 土木工事共通仕様書

1-1-1-33 事故報告書

受注者は、工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督職員に連絡する。…

■ 事故発生時の報告体制



- 「事故かくし」は、事実と反してウソをつくことになります！
- 「事故かくし」は、工事関係者、第三者、被災者本人等からの通報によって必ず発覚します！

2)事故隠し②

やってはいけない事故隠し

事例① 事故かくし+労災かくし

建設工事現場で、作業員が足場から墜落し、両足骨折の重傷を負ったにもかかわらず、監督職員に事故報告を行わなかった。

また、当該作業員は4日以上仕事を休んだにもかかわらず、労働基準監督署長に労働者死傷病報告を提出しなかった。



事例② 事故かくし+労災の虚偽報告

建設工事現場で、下請けの作業員が骨折した労働災害があったにもかかわらず、監督職員に事故報告を行わなかった。

また、元請けに迷惑がかからないよう、「自社の資材置き場で起きた。」と労働基準監督署長に虚偽の報告をした。



- 元請けに「迷惑をかけたくない」という下請けの思いが、元請けも含めた信頼失墜に繋がり、両者に重い処分が課せられることもあります。
- 元請けには下請けの監督責任、現場管理責任があります。事故報告を下請けが上げやすい環境となっていますか？

3)ヒューマンエラーについて

● ヒューマンエラーは、労働災害の8割に関係している。

・ヒューマンエラーの原因を12分類で分けられる。

(独)労働安全衛生総合研究所

高木元也氏

- | | |
|---------------|------------------|
| 1. 無知、未経験、不慣れ | 7. 場面行動本能 |
| 2. 危険軽視、慣れ | 8. パニック |
| 3. 不注意 | 9. 錯覚 |
| 4. 連絡不足 | 10. 中高年の機能低下 |
| 5. 集団欠陥 | 11. 疲労等 |
| 6. 近道、省略行動本能 | 12. 単調作業等による意識低下 |

・ヒューマンエラーのうち、安全との関係が深い類型。

職場のあんぜんサイト
(厚生労働省)

意図しない行為 (過失)	うっかりミス (スリップ) (例: 赤ボタンのつもりで青ボタンを押す)	実行段階
	し忘れ (ラプス) (例: 赤ボタンと青ボタンを押さなくてはならないのに、赤ボタンだけ押す)	記憶段階
	考え違い・思い込み (ミステイク) (例: 赤ボタンと青ボタンを押さなくてはならないのに、赤ボタンだけ押せばよいと思い込んでいる)	計画・試行段階
意図的行為 (故意)	意図的・意識的違反 (バイオレーション) (例: 赤ボタンの後に青ボタンを押さなくてはならないのに、青ボタンの方が近いので青ボタンを先に押す)	違反

ヒューマンエラー 12分類の特徴

一般社団法人
中小建設業特別教育委員会
「ヒューマンエラーはなぜおきる？」 一部加筆

ヒューマンエラー 12分類	特 徴	備 考
1. 無知、未経験、不慣れ	熟練作業員でも、初めて行う作業や赴任まもない現場では、適切な危険予測ができない	
2. 危険無視、慣れ	危険と分かっているのに不安全な行動をとる	
3. 不注意	作業に集中すると他のことに注意を払えない	
4. 連絡不足	現場の安全指示が上手く伝わらない	
5. 集団欠陥	工期が厳しい場合、現場関係者全員が「工期第一、安全第二」という雰囲気をつくってしまう	
6. 近道、省略行動の本能	面倒な手順を省略し、効率的に行動することを優先した結果、不安全な行動をとってしまう	
7. 場面行動本能	瞬間的に注意が集中し、まわりも見ず行動してしまう本能	
8. パニック	非常に驚いた時や慌てた時、脳は正常な働きをせず、冷静に適切な安全行動がとれなくなる	
9. 錯覚	合図や指示の見間違い、聞き間違い、思い込み	
10. 中高年の機能低下	身体能力の低下を自覚せずに作業してしまう	
11. 疲労等	人間は疲れると不安全行動を起こしやすくなる	
12. 単調作業による意識低下	人間は単調な反復作業を続けると意識が低下し、ミスを犯しやすくなる	

ヒューマンエラーを防ぐ対策

● ヒューマンエラーの原因12分類に対する対策

(独)労働安全衛生総合研究所
高木元也氏

1) ヒューマンエラーが発生しても大丈夫なような安全設備面の対策

3. 不注意、6. 近道、省略行動本能、7. 場面行動本能、8. パニック、9. 錯覚、12. 単調作業等による意識低下

⇒ 安全帯、墜落防止ネット、墜落防止手すり、各種保護具の着用、先し筋の養生キャップや曲げ加工、各種リミット装置(安全弁、ガス警報器、漏電遮断機、什器の接触防止など)、他

2) ヒューマンエラーが発生しないような現場の安全管理活動の充実

1. 無知、未経験、不慣れ、2. 危険軽視、慣れ、4. 連絡不足、5. 集団欠陥、10. 中高年の機能低下、11. 疲労等

⇒ 作業の技能教育・訓練、安全衛生に関する教育・訓練、ヒヤリハットの蓄積・共有、KY活動(危険予知活動)、パトロール、危険作業はひとりでやらずにペア・コンビで行う、現場での声のかけあい(危険を指摘しあう等)、職長や安全衛生責任者等の教育・訓練、明確な安全指示(誰が何をするのか)

● ヒューマンエラーのうち、安全との関係が深い類型に対する対策

1) 人が間違えないように人を訓練する。

2) 人が間違えにくい仕組み・やり方にする。

3) 人が間違えてもすぐに発見できるようにする。

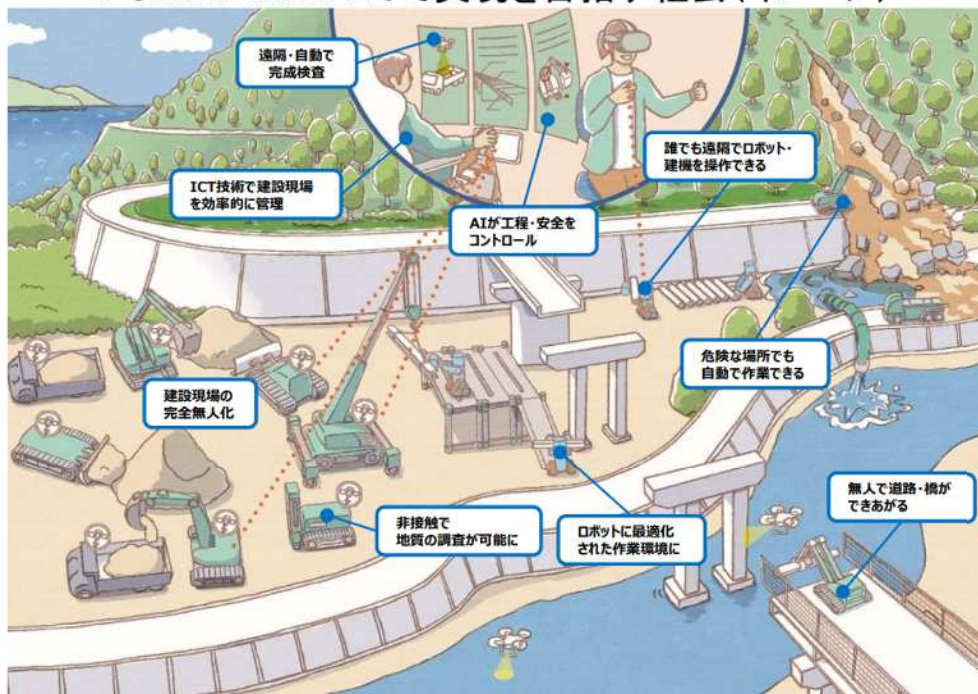
4) 人が間違えてもその影響を少なくなるようにする。

職場のあんぜんサイト
(厚生労働省)

4)i-Construction 2.0 (建設現場のオートメーション化)

- 建設現場の生産性向上の取組であるi-Constructionは、2040年度までの建設現場のオートメーション化の実現に向け、i-Construction 2.0として取組を深化。
- デジタル技術を最大限活用し、少ない人数で、安全に、快適な環境で働く生産性の高い建設現場を実現。
- 建設現場で働く一人ひとりの生産量や付加価値を向上し、国民生活や経済活動の基盤となるインフラを守り続ける。

i-Construction 2.0で実現を目指す社会(イメージ)



第5期技術基本計画を基に一部修正

i-Construction 2.0: 建設現場のオートメーション化に向けた取組 (インフラDXアクションプランの建設現場における取組)

i-Construction 2.0 で2040年度までに 実現する目標

省人化

- ・人口減少下においても持続可能なインフラ整備・維持管理ができる体制を目指す。
- ・2040年度までに少なくとも省人化3割、すなわち生産性1.5倍を目指す。

安全確保

- ・建設現場の死亡事故を削減。

働き方改革・新3K

- ・屋外作業のリモート化・オフサイト化。

(6)その他、連絡事項等

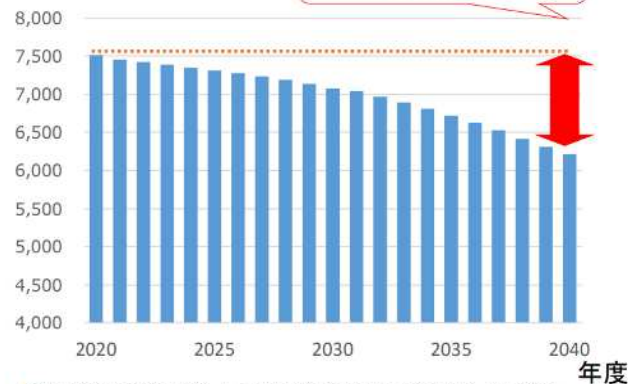
■建設現場を取り巻く背景・課題 一生産年齢人口の減少・災害の激甚化・頻発化一

生産年齢人口の推移

2020年度 約7,509万人 ⇒ 2040年度 約6,213万人

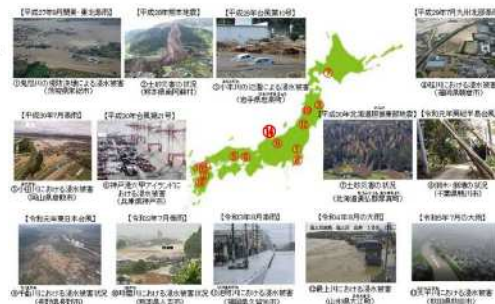
万人

2040年度は対2020年度比
約2割減少



【出典】国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来人口推計 (令和5年度推計)」(出生中位(死亡中位)推計)

災害の激甚化・頻発化

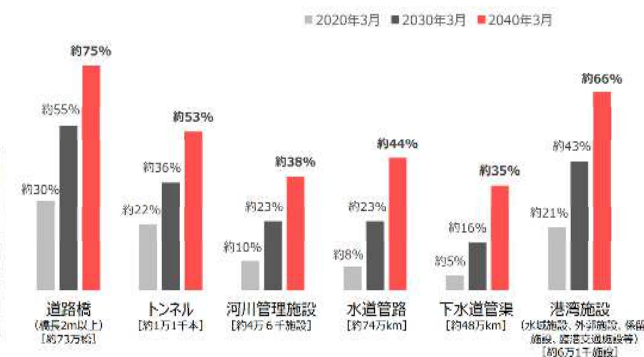


主な災害の発生状況



能登半島地震 (R6.1.1)
(石川県輪島市)TEC-FORCE撮影

一社会資本の老朽化一



【建設後50年以上経過する社会資本の割合】

●i-Construction 2.0の目的や考え方

i-Constructionの目的や考え方
・生産性向上施策
・産学官が連携して生産性を高める
・ICT活用、プレキャスト、平準化をトップランナーとして実施



i-Construction 2.0 の目的や考え方
・省人化対策
・人口減少下における持続的なインフラ整備・管理 (国民にサービスを提供し続けるための取組)
・自動化 (オートメーション化) にステージを上げる

i-Construction 2.0 ～建設現場のオートメーション化に向けて～

■ i-Construction 2.0が目指す目標

1 省人化（生産性の向上）

生産年齢人口が2割減少することが予測されている2040年度までに、
建設現場において、少なくとも省人化3割、すなわち1.5倍の生産性向上を実現

2 安全確保

建設現場での人的被害が生じるリスクを限りなく低減し、人的被害の削減を目指す

3 働き方改革と多様な人材の確保

快適な環境下での作業など、働く環境の大幅な改善を目指す
時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方や、これまで以上に多様な人材が活躍できる場の創出を目指す

4 給与がよく、休暇が取れ、希望がもてる建設業の実現



建設現場で働く一人ひとりの生産量や付加価値を向上し、国民生活や経済活動の基盤となるインフラを守り続ける

5)近畿地方整備局における事故防止対策の取組

近畿地整

【事故防止関連の主な活動(近畿地方整備局)】

- **安全協議会の開催**(6月以降:近隣事務所合同)
- **工事安全パトロール**(10月 奈良県の工事現場)
※日本道路建設業協会関西支部舗装部会と合同開催
- **出前講座による啓発**(自治体、業団体を対象)
- **公共工事発注者連絡会議**(労基主催)



安全協議会開催状況(福井地区)

【事故防止関連の主な活動(近畿地方整備局)】

- ## ● ニュースレター「あんぜん」の発行

※令和5年10月より、1回／2か月 偶数月に発行

【近畿地方整備局HPで公開中】



6) ニュースレター「あんぜん」

近畿地方整備局HPで公開中

The screenshot shows the homepage of the Kinki Regional Development Bureau. The header includes the logo and name of the Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism Kinki Regional Development Bureau. Navigation tabs include Disaster, Rivers, Roads, Local Development/Construction Industry, Ports/Airports, Enterprise (highlighted with a red box), Management, Land Use, and General Affairs. A secondary navigation bar features icons for Disaster/Disaster Information, Site Visits/Outing Lectures, Kinki Social Capital Development, Information for Business Operators, Issuance/Entry Information, Bureau Introduction, Application/Consultation, Employment Information, and DX/Infrastructure DX. Below this is a large banner image of construction workers. The main content area is divided into two columns. The left column, titled 'For all construction industry members', contains links to Technical Information/General Information, Quality Improvement, Environmental Improvement, Construction Accident Prevention (highlighted with a red box), Public Works Labor Cost Survey, Working Style Reform/2-day Worksite Support Site, Commemorative Relationship, and Kinki Block Issuance Association. The right column, titled 'For Construction Accident Prevention', contains links to the Newsletter 'Anzen' (highlighted with a red box), Construction Accident Prevention Safety Countermeasure Enhancement Support (PDF), Construction Accident Prevention Safety Countermeasure Enhancement Support (Heisei 26 Edition), Accident Case Collection, Construction Accident Prevention Countermeasures [Safety Leaflet], Countermeasures for Accidents in Construction (PDF), Hand-guided Mower Safety Countermeasure Manual (Draft) (PDF), and Shoulder-mounted Mower Safety Countermeasure Manual (Draft) (PDF). Red arrows indicate the path from the 'Enterprise' menu to the 'Construction Accident Prevention' section and then to the 'Newsletter Anzen' link.

国土交通省 近畿地方整備局
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism Kinki Regional Development Bureau

防災 河川 道路 まちづくり・建設産業 港湾・空港 企画 営繕 用地 総務

防災・災害情報 現場見学・出前講座 近畿の社会資本整備 事業者向け技術情報 発注・入札情報 近畿地方整備局の紹介 申請・相談窓口 採用情報 DX インフラDX

建設事業者の皆さまへ

技術情報・共通仕様書等 品質向上の取り組み 環境改善に向けて 建設事故防止に向けて

公共事業労務費調査 働き方改革・建設現場の週休2日応援サイト 表彰関係 近畿ブロック発注者協議会

建設事故防止に向けて

ニュースレター「あんぜん」

建設事故防止のための安全対策強化の支援について PDF

建設事故防止のための安全対策強化の支援について（平成26年度版）

事故事例集

建設工事事故防止対策【安全啓発リーフレット】

工事等事故防止対策における好事例集 PDF

ハンドガイド式草刈り機の安全対策マニュアル（案） PDF

肩掛け式草刈り機の安全対策マニュアル（案） PDF



『高めよう1人1人の安全意識』

『安全意識を現場全体に根付かせよう』

5S活動、指差呼称、パトロール、KY活動など、安全衛生活動について、企業、チーム、個人の不断の努力により、安全行動を習慣化し、労働災害、公衆災害を抑制させましょう

家族が安心して送り出せる、職場環境を！

ご安全に！